



みんなのかかりつけ訪問看護ステーション
代表取締役社長 / 看護師
藤野 泰平 さん

他と圧倒的に違うのはインターフェース。 業務効率を上げやすく、間接費のコストが非常に 下がりました。

iBow 導入のきっかけは？

日本は間接費のコストが、結構高いです。中でも事務部門が大きなコストを持っているため、クラウド化によって複数の訪問看護ステーションの事務を一か所で行うことで非常にコストが下がると思っていました。そういう電子カルテを探していたところ、iBow と出会ったのです。

iBow は他の電子カルテとどこが違いますか？

他と圧倒的に違うのはインターフェースだと思えます。看護師が使い始める時に使いやすい。導入のしやすさと日常的に操作する簡便さが一番良いと思いました。事業所に人が増えていく際、電子カルテを使ったことのある人もない人も入ってきます。来る層は色々だと思いますが、電子カルテのインターフェースが使いやすいと、導入がしやすい。また、業務効率を上げやすいところに繋がってくる。様々な見た中でインターフェースの良さが一番良かったと思っています。



他と圧倒的に違うのはインターフェース。
2 か月もしないうちにもう使いこなしていました。

少し割高感はありますが、
iBow で残業 20% 改善。
採用は 30~40% 増、20代・30代が
増えてきています。

iBow 導入後の変化を教えてください

会社のビジョンによって価値をどう見出すかは違うと思いますが、iBow は私が以前使っていた電子カルテの会社より少し割高感があります。ただし、それをどうやってペイするかという話をしますと、一つは、**残業が圧倒的に減りました**。現地で記録を取りやすいので訪問先で記録を終了させ、それをスタッフで連携していくことができます。これにより、残業については切る期間で若干違いますが、**平均すると 20% くらい改善しています**。

二つ目は、採用が促進された実感を持っています。僕も病院にいましたけれども、大きい病院は 7 割以上が電子カルテを使っています。病院の看護師は、病棟で電子カルテと共に移動したりしますので、情報をすぐ見ながら様々なチェックをしてケアすることに慣れています。そういった方々から、在宅でも情報をすぐ見られることは非常に良いと評価をもらうことが多いですね。採用には様々な要因が紐づいていますが、経時変化としては**採用総数が 30~40% くらい増えています**。また、応募して来る層自体が変わっていると実感しています。30代・40代が多かったものが、**20代・30代が増えてきています**。

もう一点は、やはりマネージャー教育です。良いマネージャーがいなければ、良いチームはできない。事業所を運営していく上で、マネージャーは様々な数字を見ていく必要があります。新規利用者の数や終了者の数、その理由、現状の利用者数や訪問件数、これらを簡単に見られる。ここが極めて違っていると思っています。iBow の方が**マネージャーが非常に簡単に数字を見られて、そこに対して判断ができる**。そういう良さを感じています。



※バージョンアップなどによる、画面の変更がある場合がございます。

入力に不慣れなスタッフがいても導入しやすい。 2か月もしないうちにもう使いこなしていました。

iBowの良いところを教えてください

私はiBowを薦めるタイプですね。なぜかと言うと、業務が改善すること、夜間待機や緊急訪問で呼ばれた時に、**初めて訪問するスタッフでも情報を集めることができる**。そういった意味合いでiBowは非常に良いと思います。

また、年代の高いスタッフで**携帯端末での入力に慣れていなかったり、電子カルテを使った経験が少ないスタッフもいますが、そういう人がいても導入しやすい**。今回弊社で50代・60代の看護師を見ていて感じましたので、そういった意味でも薦めることがあります。実際に使ってみると私の体感では、2か月もしないうちにもう使いこなしている様子がありましたので、使ってみるというハードルを下げて実際に使ってみることで、そう長い時間かからず定着しやすいと思いました。



※バージョンアップなどによる、画面の変更がある場合がございます。

iBowはどんな存在ですか？

iBowを展開する株式会社eWeLLの社風もあると思いますが、共に創っていく感覚を非常に強く感じてます。我々は訪問看護を通じて全ての方々が豊かに暮らす社会を作っていく。それをeWeLLは支えてくれる。そういう二人三脚をしている感覚があります。

以上



みんなのかりつけ訪問看護ステーション

代表取締役社長 / 看護師

藤野 泰平 さん

<https://kakaritsuke.co.jp/>



実績

愛知県訪問看護ステーション協議会企画委員、愛知県看護協会西支部役員、日本看護協会 訪問看護・介護施設における看護管理者育成策に関する検討委員会委員、2016年日本看護管理学会 企画委員、講演会のべ2万人に講演実施等

2002年4月～2006年3月
2006年4月～2011年3月

どこにいても最高のケアが受けられる社会インフラを創るために創業し、現在、愛知、東京、岐阜に11店舗出店。

2013年4月～

名古屋市立大学 看護学部
聖路加国際病院 常勤看護師
救命センターを中心に、救急外来、ICU、HCUを担当。スタッフ教育を行う教育担当、横断的な病室管理プロジェクトも担当。聖路加看護大学の退院調整看護師育成プログラムを受講。

2014年11月～

愛知県看護協会 男性看護師会 JUMP 代表
愛知県看護協会の下、同協会に加入している男性看護師約2000名を対象とした組織を設立。愛知県下の男性看護師のネットワーク構築、価値を明らかにする活動を実施。

2014年12月～
2014年11月～

一般社団法人 日本男性看護師会 共同代表
全国の男性看護師を対象とした団体を設立。任意団体として2012年～活動していた団体を法人化。男性看護師の可能性を広げる活動、ネットワークを構築する活動を実施。2015年 医療の質安全学会 新しい医療のかたち賞を受賞。

2016年11月～

愛知医科大学 看護学部 非常勤講師「在宅看護援助論」担当
株式会社デザインケア 代表取締役、みんなのかりつけ訪問看護ステーション名古屋 所長（常勤）
365日24時間の訪問看護事業を名古屋市全域で展開。

一般社団法人 オマハシステムジャパン 発起人理事
アメリカ、オランダで訪問看護の質向上、医療費削減に貢献した、ケアの見える化ツールを日本に導入。

iBowでは、資料請求や無料デモンストレーション（オンライン可）を承っております。
お気軽にお問い合わせください。

お気軽にお問い合わせください。どんな些細な事でも専門コンサルタントがお答えします。

 **0120-49-0333**

受付時間 9時～22時（平日18時以降と土日祝は用件受付のみ）

資料請求・無料デモンストレーション

iBow 訪問看護



@ewellibow



@eWeLL_iBow



iBowで検索

LINE友だち追加で
お役立ち情報・無料
セミナー情報をGET

